# 令和４年度　学校評価　大田市立第三中学校

| 領域 | 重点目標 | 中期目標 | 評価観点 | 職員 A | 職員 B | 職員 C | 職員 D | 職員 E | 職員 肯定 | 全校 A | 全校 B | 全校 C | 全校 D | 全校 E | 全校 肯定 | 保護者 A | 保護者 B | 保護者 C | 保護者 D | 保護者 E | 保護者 肯定 | 評価指標 | 指標に対する評価 | A 達成状況（職員から出た意見）成果（◎）と課題（●）、その他（△） | B 来年度に向けて | C 学校運営協議会委員の方からのご意見 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学びに向かう力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成 | 基礎的基本的な知識・技能の確実な定着 | 生徒一人一人の特性に応じた細やかな指導 | 授業中の生徒の発言や学習の様子、小テスト等で実態を把握し、学習に遅れがちな生徒や特別な支援を要する生徒に適切な指導や支援ができたか。 | 1 | 6 | 0 | 0 | 3 | 70 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | ○教科担当が小テストを作成し、授業のはじめに実施することで、前時の復習と学力の定着が図れたと思う。<br>○どんどん伸びるシートなど、長文を記入する機会があり、少しずつ文章も書けるようになっている気がする。 | ・各学年の実態と照らし合わせて、取り組む内容を精選する。<br>・朝学習と終礼時の時間を有効に活用する。 | |
| | 思考力・判断力・表現力の育成 | 問題解決型学習による主体的で深い学びの実現 | 生徒の主体性を育み、身近で多面的に考えられる課題を設定し、問題解決に至るまでの過程を意識した授業に取り組んだか。 | 1 | 5 | 0 | 1 | 3 | 60 | 2 | 3 | 2 | 1 | 0 | 63 | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | ○生徒自ら相談し合い、協力してダンスの授業に取り組めた。<br>●教科書の内容を教えることで良しとする授業になってしまった。 | ・能力ベイス型授業を展開していく中で、生徒自身にどのように生かされ、つながっていくのかを示し、生徒の主体的な学びを促したい。 | |
| | | 主体的・対話的な授業づくりを通しての授業改善 | 生徒が人前で自分の思いや意見を発表できたり、他者の意見を聞いて自分の考えとの違いを認めたりすることができたか。 | 4 | 4 | 0 | 0 | 1 | 89 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 75 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上。 | A | | ・学ぶことに興味や関心を持ち、生徒自身が考えを広げ深められるような授業づくりを進める。 | ○他校の生徒たちとのオンライン交流はぜひ続けて欲しい。 |
| | | 多様な他者との関わり（出前授業や外部講師との授業実践） | 生徒は教職員や地域の人との対話等を通じ、自己の考えを広げたり、深めたりすることができたか。 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 100 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 88 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上。 | A | | ・外部講師や地域の方を招いての授業は、生徒にとって見聞を広めるだけでなく良い刺激となっているので、状況が許せば継続したい。<br>・多様な他者という点で、同年代の他校の生徒とのオンライン交流も相互理解が深まり良かったと思う。 | |
| | 学びに向かう力の育成 | 授業での「めあて」の明示と「振り返り」の徹底 | 授業において「めあて」の確認と「振り返り」を実施したか。 | 2 | 3 | 2 | 0 | 3 | 50 | 3 | 2 | 3 | 0 | 0 | 63 | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | | ・授業の『めあて』と『振り返り』ができているのに合わせて、『見通し』を示されることもあって良かった。 | |
| | | 到達度と定着度を測るための手立て | 授業のねらいに合わせてICT機器を活用し、学習意欲を喚起するとともに生徒の学びに効果的な活用ができたか。 | 4 | 2 | 1 | 0 | 3 | 60 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 100 | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | ○興味の事柄（行ってみたい国など）をタブレットを使って詳しく調べて発表する。 | ・教科によっては、授業中に小テスト等を実施して定着度を確認できているので、継続していきたい。<br>・定期テスト、習熟度テスト、全国学テ、県学テの結果から、生徒の到達度を確認し、指導の在り方について見直す機会とする。 | |
| | 家庭学習の定着・習慣化 | 予習・復習が活かされる授業づくり | 宿題ボードを活用することで、生徒が主体的に家庭学習に取り組むことができたか。 | 2 | 3 | 1 | 0 | 4 | 50 | 0 | 2 | 2 | 3 | 1 | 25 | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 | 43 | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | ○宿題ボードを記入することで、生徒の提出状況が良くなっていると感じる。<br>●個人差があるため、人数分の手立てが必要だと思った。 | ・予習や復習にどれくらい時間をかけているか、実態把握ができてないのでアンケート等の実施をしたい。<br>・『ミライシード』『学びポケット』を授業中や長期休業中の課題として生徒が活用しているので、継続して利用したい。 | |
| | | 家庭学習の習慣化に向けた取組（見える化） | 宿題の内容や量を調整したり、タブレット端末などを活用したりすることは、家庭学習の定着・習慣化に有効であったか。また、生徒は記録をもとに、家庭学習の振り返りをすることができたか。 | 1 | 4 | 1 | 0 | 4 | 50 | 1 | 4 | 2 | 1 | 0 | 63 | 4 | 2 | 0 | 1 | 0 | 86 | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | ○SSSCは生徒の力を引き出すことが出来た。（家庭学習のヒント）<br>●生徒に視覚で理解できるような物を準備していなかった。 | ・宿題ボードの利用継続。<br>・家庭学習チェックシート（学習時間の記録）を作成する。 | |
| | 図書館活用 | 学校図書館を活用した授業実践 | 生徒が資料を活用して主体的に学ぶ授業を行うことができたか。 | 1 | 4 | 1 | 1 | 3 | 50 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | B | | ・特別教室に学習に関する図書を配置するなどの、教職員や生徒の身近に学習に必要な本が整備されている環境づくりを継続していきたい。 | |
| | | 学校図書館利用の推進 | 学校図書館は、生徒が読みたいと思える本や学習に役立つ本を十分に用意しているか。 | 3 | 6 | 0 | 0 | 1 | 90 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 88 | | | | | | | 生徒肯定的評価８０％以上 | A | △10の生徒が読みたいと思える本＝学習に役立つ本ではないので難しいところですが、欲しい本、入れて欲しい本のリクエストは生徒全員に聞いている。 | ・生徒が学校図書館を利用する機会が減りつつあるため、学校司書とも連携し、定期的に図書の借り替えのタイミングを設ける。 | |
| 自他を尊重し、多様な他者と協働できる生徒の育成 | 道徳教育の充実 | 計画的・発展的な指導の充実 | 生徒の実態にあった教材の選出を行って授業を実施したことが、生徒の道徳的態度を養うことにつながったか。 | 2 | 4 | 0 | 0 | 3 | 67 | | | | | | | | | | | | | 道徳の授業の振り返りの中に道徳的態度が養われたような反省や感想が見られた。 | B | | ・各学級担任を中心に、年間の行事等に対応した道徳教育を実践していく。<br>・ｚｏｏｍ等を活用し、他校との合同授業を計画したい。 | |
| | | 学びの轍ファイルの活用した評価の工夫 | 生徒一人一人が考えたり、発表したりした内容がきちんと記録された資料が集まったか。 | 3 | 4 | 0 | 1 | 1 | 78 | 1 | 3 | 3 | 1 | 0 | 50 | | | | | | | 生徒一人一人の考え方や心の変容がうかがえる資料を残すことができた。 | B | | ・毎時間の道徳ワークシートの記入、展示が定着しているため、次年度も継続したい。 | |
| | 人権・同和教育の充実 | 職員研修の推進 | 校内研修等を通して、教職員の人権感覚が磨かれたか。 | 5 | 3 | 1 | 0 | 0 | 89 | | | | | | | | | | | | | 人権・同和教育に関する職員研修の機会を年間３回以上確保することによって、教職員の意識の高揚が見られた。 | A | | ・時間に余裕のある夏季に、研修を実施できるよう、計画的に準備を行う。 | |
| | | 系統的な人権・同和問題学習を通した人権意識の確立 | 人権講演会、人権集会を通して生徒の人権意識は高まったか。 | 3 | 5 | 0 | 0 | 1 | 89 | 1 | 6 | 1 | 0 | 0 | 88 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1 | 86 | 発言や感想文から、生徒が自分の生き方に置き換えて考えることができた。 | A | ○各行事や講演会等において、意欲的な活動や発言があった。 | ３年間を見通した学習計画を検討する必要があると思う。 | ○地域や小学校、中学校と人権・同和教育の講演が多くて一つしか参加できない。そして人集めに困っている話も聞くので体は一つだから合同で開催して頂けると助かります。 |
| | | 保護者・地域への啓発（人権集会・交流学習） | 家庭や地域、関係機関と連携した人権・同和教育が推進されていたか。 | 4 | 2 | 3 | 0 | 0 | 67 | | | | | | | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 100 | 学校だよりで人権学習及び講演会の成果を発信した。 | B | | ・学校便りや他の便りで学校の取組を紹介できるといいと思う。 | |
| | 学びの轍ファイル（キャリアパスポート）の活用 | 学校行事での自己目標の明確化と達成感 | 生徒は、キャリアパスポートの年間目標に合わせて、各行事の目標・振り返りを適切に行ったか。 | 1 | 4 | 1 | 0 | 3 | 56 | 3 | 2 | 3 | 0 | 0 | 63 | 5 | 0 | 1 | 0 | 1 | 71 | 生徒肯定的評価８０％以上。<br>保護者肯定評価８０％以上 | B | | ・年度当初に立てる個人目標を、いつでも確認できるように掲示する。<br>・昨年度の振り返りを行い、そこから今年度の目標を立てる。 | |
| | | キャリアパスポートの活用 | 生徒の目標の設定がキャリアパスポートに沿って適切に行われたか。学校行事等が、その達成のための企画・取組になっていたか。 | 1 | 4 | 2 | 0 | 2 | 56 | 1 | 4 | 2 | 1 | 0 | 63 | | | | | | | 目標の振り返りと次の目標立てが、最終目標の達成とつながっていたか。 | B | △キャリアパスポートの目標と行事の目標との関わりが理解できているかな？と思う部分がある。 | ・年度の始めに、「キャリアパスポート」の使い方や意義を生徒に説明する。 | ○キャリアパスポートのねらいを保護者も知りたい。どう子どもの未来に役立っていくツールなのか知りたい。 |
| | 学校行事や生徒会活動の主体的な取組 | 生徒会執行委員会を中心とした活動の充実 | 生徒は意欲的に作品づくりに取り組んだか。 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 88 | 1 | 4 | 3 | 0 | 0 | 63 | 1 | 4 | 0 | 0 | 2 | 71 | 生徒肯定的評価８０％以上。 | B | ○実用的な物、大きいサイズの物を作るよう指導したことで、窯芸作品の質が高まっていた。 | ・来年度は久しぶりに３学年がそろうため、３年生にリーダーの自覚をしっかりさせて取り組ませる。 | |
| | 地域貢献への取組 | 窯芸作品の制作 | 窯芸作品の制作に、生徒は意欲的に取り組んだか。 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 100 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | | | | | | ### | 教職員肯定的評価８０％以上。 | A | ○窯芸教室から窯出しまでの全ての取組は、協働する力を養成している。 | ・来年度もみらいの会方や地域の方に協力をしていただかないと、生徒・教職員の負担が多いと感じる。 | ○窯芸教室をぜひ続けてほしい。 |
| 自らの生活をコントロールできる生徒の育成 | 進路指導・キャリア教育の充実 | 進路説明会 | 校外からの講師の説明を聞いて、自分のこれからの進路について考える機会になったか。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上。 | | ○講演会や教材を通して、生徒が新しいことを学んだり、人との関わりの中で多様な考え方を知ることがワークシートの感想から感じ取れた。<br>●生徒の数が少ないため「多様」という点では不十分。 | ・今年度は実施しなかったが、来年度はきちんと計画をして実施する。 | |
| | | 職業人講話 | 様々な職業について、意欲的に質問をしたりして視野を広めようとしていたか。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上。<br>生徒肯定的評価８０％以上。 | | | ・コロナ禍ではあるが、感染予防対策をしっかり行い、できる限り多くの機会を設けて実施する。 | |
| | | 職場体験 | それぞれの事業所において、目的意識をもって意欲的に活動している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 生徒肯定的評価８０％以上。 | | | ・今年度は実施しなかったが、感染予防対策をしっかり行い、できる限り体験を実施する。 | |
| | セルフコントロール力の育成 | 生活シャキッと週間を通した生活習慣指導の充実 | 心身の健康の保持増進と基本的生活習慣を確立するための取組は適切に行われていたか。 | 3 | 4 | 2 | 0 | 0 | 78 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 100 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 100 | 、生活シャキッと週間に取り組み、毎日朝食を摂っている生徒が８０％以上。 | A | ○シャキッと週間は自分の生活を振り返る良い機会になったと思う。<br>○SSSCでは、全員で協力することや、規則正しい生活などで生徒の頑張る姿が見られたと思う。 | ・今後もシャキッと週間を継続していくが、内容の精査を行い実態に沿って目標の設定を行う。 | |
| | | | 日々の生活を振り返り、メディアとの関わりについて理解を深めることができたか。 | 1 | 7 | 0 | 0 | 1 | 89 | 2 | 2 | 3 | 1 | 0 | 50 | | | | | | | 生徒肯定的評価８０％以上。 | A | △メディアとの関わりなど誓いは深まっているが、日々の生活のコントロール、改善につながりにくい現状がある。 | ・講演などを通して、メディアとの関りについて理解させていくとともに、実際の生活に活かせていけるようにする。 | |
| | | 体力の向上 | 生徒自身が意識的に自己の体力を把握し、それに応じて、運動に取り組むことができるか。 | 0 | 5 | 2 | 0 | 2 | 56 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 88 | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上。 | B | ●生徒が意識的に自己の体力を把握して、それをもとに運動をする、あるいは運動をしようとしていたようには見えなかった。<br>●昼休みの有効活用が出来ていない。（例：野球…キャッチボール、ノック　卓球…サーブ　　バスケット…フリースロー　バドミントン…クリア、ドライブ. ヘアピン） | ・日々の生活の中に運動を取り入れ、体力テストなどの結果をみて、各自で必要な運動を取り入れるようにする。 | |
| | | 定期的な教育相談 | 教育相談週間等の計画が立案され、実施されていたか。 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 88 | | | | | | | 教職員評価A評価が８０％以上。 | A | ○色々な立場から生徒に対する教育相談をしていただき、相談しやすい雰囲気がある。 | ・情報を教職員やSC等と共有し支援につなげる | |
| | 一人一人の生徒理解を基盤とした生徒指導の充実 | 一人一人の生徒理解を基盤とした生徒指導の充実 | 生徒指導日報を活用し、必要な情報を漏れなく共有することができたか。 | 8 | 0 | 0 | 0 | 1 | 89 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 88 | | | | | | | 教職員評価A評価が８０％以上。 | A | ○生徒の情報が、教職員で共通理解できていたと思う。 | ・来年度以降も同様に取り組む。 | |
| | | 指導体制の確立と共通理解による指導の充実 | 悩みや課題を抱えている生徒の早期の実態把握に努め、適切な指導が行われていたか。 | 4 | 3 | 2 | 0 | 0 | 78 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員評価A評価が８０％以上。 | B | ○態度・言動の小さな変化を捉え、早朝での実態把握が出来、対応の共有が出来ている。<br>○生徒と教職員があらゆる場面で、色々な立場で関わることにより、情報収集することができ、生徒理解に役立てることが出来た。<br>△自分からではなく、管理職主導になっていた。<br>△もう少し早くにケース会議を開いて手立てを考えるべきだった。 | ・生徒指導日報等を利用し、生徒の変容に即座に気づいて対応できるようにする。 | |
| | 規範意識の醸成 | 学校の決まりやルールを守った学校生活 | 必要な指導場面を逃さず、自ら正しく判断する力を身に付けさせる指導ができたか。 | 2 | 6 | 0 | 0 | 1 | 89 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 75 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員評価A評価が８０％以上。 | A | | ・指導の機会を逃さず、全教職員が共通理解のもと指導をしていく。 | |
| | | 挨拶指導の徹底 | 挨拶・返事について、指導場面を逃さずに適切な指導ができている。 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 89 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 88 | 2 | 4 | 0 | 0 | 1 | 86 | 教職員評価A評価が８０％以上。 | A | ●普段の生活で本校の生徒は地域や学校で挨拶が出来ているのでしょうか？卒業後のことを考えると、しっかりと身につけておく方が良いと思います。 | ・指導の機会を逃さず、全教職員が共通理解のもと指導をしていく。 | |

今年度、3年生が在籍しないため活動等実施できず。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域に開かれたよりよい学校づくりの推進 | 学校教育目標の実践 | 学校経営の重点に基づく各分掌及び学年・教科経営 | 学校教育目標（経営方針、経営の重点）を踏まえた分掌の運営、学級経営、教科経営が実践できたか。 | 2 | 6 | 0 | 0 | 1 | 89 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | A | | ・継続して取り組む。 | |
| | 情報発信 | ＨＰや学校便りによる保護者、地域への情報発信、学校図書館の開放 | 学校だよりをはじめとする配付文書やＨＰ、一斉メールを使って、保護者や地域の方への情報提供を積極的に行ったか。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | | | | | | | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上<br>保護者肯定的評価８０％以上 | A | ○各関係機関から沢山の報道をしていただけた。<br>○メディアを活用して大田三中をPRしたのは大変良かった。<br>○新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じたうえで、校内行事の参加を呼びかけ、多くの地域の方に参加していただいた。また、学校便り、NHK、山陰中央新報など多くのメディアでも取り上げていただいた。<br>△情報の発信は行っているが、その反応や意見を返してもらう仕組みが確立していない。 | ・情報の発信について、学校運営協議会やＰＴＡの集まりの折、評価を聞く。 | |
| | 教育環境の整備 | 施設設備の保全 | 校舎内外の環境整備（掲示物を含む）、清掃活動の運営を適切に行ったか。 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | | | | | | | 教職員や生徒は、時間一杯清掃活動に取り組んだ。 | A | | ・安全点検については引き続き丁寧に取り組んでいきたい。<br>・今年度も担当をローテンションしたが有効であった。<br>・次年度はコンセントのチェックも通常のチェック項目に入れる。 | |
| | | | 備品点検・整備・整理ができ、より効果的な備品活用ができたか。 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 100 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 100 | 2 | 4 | 0 | 0 | 1 | 86 | 学校周辺の通学路の草刈りや溝等の整備がされている。 | A | | | |
| | | | 学校周辺の通学路の安全確保のため、適切な整備がなされていたか。 | 4 | 4 | 0 | 0 | 1 | 89 | 6 | 1 | 0 | 1 | 0 | 88 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員評価Ａ評価が８０％以上。 | A | | | |
| | | 文書・備品管理の徹底 | 来文書や作成文書について適切なファイル・フォルダに保管・保存することができたか。 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 100 | | | | | | | | | | | | | | A | ○今年度より文書保管をＰＤＦ化。 | ・文書の電子化について意見を聞きながらさらなる改善を行う。<br>・ファイル名（年度）の統一を行う。 | |
| | | 保護者負担経費の適切な活用 | 保護者負担が軽減できたか。また、購入した教材を有効に活用できたか。 | 3 | 5 | 0 | 0 | 1 | 89 | | | | | | | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上<br>保護者肯定的評価８０％以上 | A | | ・前年踏襲ではなく、教材費等評価の結果も参考にして、公費・私費区分のあり方も含めて教材の選定を行えるようにする。 | |
| | 地域との連携 | 地域行事への積極的な参加 | 地域の要望に応じた地域行事への参加の呼びかけを積極的に行ったか。 | 6 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 100 | 2 | 4 | 1 | 0 | 0 | 86 | 教職員肯定的評価８０％以上<br>保護者肯定的評価８０％以上<br>生徒肯定的評価８０％以上 | A | ●現在の生徒数を考えると、一人一人にかかる負担が多いように感じる。 | ・催し物への参加を促す。部活動との優先順位について年度当初から確認する。 | ○地域の大人だけでなく、地域の小学生や乳幼児と交流する機会が増えると嬉しい。 |
| | | 保護者、地域の力を活用すると共に、地域や保護者の願いに対する適切な対応 | 窯芸活動や演劇活動、通常授業等で地域等の外部から講師を招聘し、積極的に活用できたか。 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 100 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 88 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上<br>保護者肯定的評価８０％以上 | A | ○文化祭や窯芸など多くの行事で外部から多くの指導者を招待して運営できたと思う。 | ・窯芸活動と文化祭を2つの柱として、地域に感謝を伝えることができるよう、継続して取り組む。 | |
| | | | 家庭・地域との相互理解を深めるため、連絡・相談や懇談等の機会が充実していたか。 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 | 100 | | | | | | | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価８０％以上<br>保護者肯定評価80％以上 | A | ○様々な講演や学校行事に地域の方々が参加してくださった。 | | |
| | 危機管理体制の確立 | 危機管理能力の向上 | 避難訓練等を通して、生徒自らが安全に行動することや緊急時の対応を理解することができたか。 | 6 | 2 | 1 | 0 | 0 | 89 | 1 | 2 | 4 | 0 | 1 | 38 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 職員や生徒は、避難の仕方や経路を知り、整然と行動することができる。 | A | | ・計画的な事例研修を次年度も行う。 | |
| | | 服務規律の確保 | 校内研修や職員会議等で、危機管理意識の向上を図る取組が適切になされていたか。 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 89 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | A | | | |
| 業務改善の推進 | 勤務実態把握と業務の明確化・適正化 | タイムカードによる状況把握 | 会議等の時間の短縮や学校行事の精選を図ることができたか。 | 1 | 3 | 5 | 0 | 0 | 44 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | B | ○三中はある程度余力をもって働けるので、業務改善について、特に意見はありません。<br>△働き方改革挑戦校ということで、これからもっと業務改善や行事の精選等が進むと良い。<br>●目直勤務者の定時退庁が出来ていないと思います。「一言声を掛けてあげる」 | ・目直業務のの見直し。出勤時刻について変更を検討中。 | |
| | | 会議や学校行事の精選 | 部活動では、生徒や顧問の負担軽減となるような活動時間や休養日を設定することができたか。<br>（業務改善全般） | 4 | 3 | 1 | 0 | 1 | 78 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | B | ●小規模校なので致し方ないですが、分掌の担当が重なると大変です。<br>△データを自分のUSBやデスクトップに保存せずに、文書庫に入れるだけでも業務改善や危機管理の向上になると思う。 | | |
| | 部活動運営方針の徹底 | 部活動運営方針に沿った活動の実施 | 部活動の性質や意義に基づいて年間計画を作成し、教職員・生徒・保護者の理解を得て運営を行うことができたか。 | 3 | 5 | 0 | 0 | 1 | 89 | 3 | 4 | 1 | 0 | 0 | 88 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 100 | 教職員肯定的評価80％以上<br>保護者肯定的評価80％以上 | A | | ・市のガイドラインに沿って活動を続ける。 | |
| | | | 地域の人材を活用し、より充実した部活動を実施することができたか。 | 3 | 4 | 1 | 0 | 1 | 78 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | B | | ・引き続き、丁寧な説明に務める。 | |
| | 校内サポート体制の整備 | 学年部会及び分掌部会の活性化 | 定期的に学年部会や分掌部会を行い、新教育課程に備えた取組ができたか。 | | | | | | ### | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | | | ・職員会開催日を増やすことにより、１回の時間が短くなる。その後の時間を有効活用する。 | |
| | | メンタルヘルス対策 | 年２回のストレスチェックを実施し、結果をもとに面接や関係機関との連携を図れたか。 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 67 | | | | | | | | | | | | | 教職員肯定的評価８０％以上 | B | | ・事例研修、ストレスチェックを継続する。 | |